

第26回総会誌

徳島玉翠会



「栗林公園」

2019年(令和元年)度版

2019. 6. 22(土)開催

表紙絵画「栗林公園」への寄稿

榎本 鈴代（昭和 51 年卒）

2002 年 9 月、多くの子どもたちを楽しませてくれた栗林公園動物園が、閉園しました。みなさんも、何度も足を運ばれたことと、思います。この動物園に、なんとプールがあったこと、ご存知でしたか？古い、緑苔がはえた、ひんやり水のプールが。（ネットで調べたところ、動物園が昭和 4 年、プールは昭和 5 年からとか。昭和 42 年頃でも、かなりの年季物に見えたのは、無理もない話ですね。）

長尾の町から、高松に引っ越してきた年の夏休み。父がこのプールに連れてきてくれました。冷たいプールで、ガクガクに冷えたあと、買ってもらったアイスの味。外に飛び出すと、そこは太陽さんさんの、真夏の庭園。汗をふきふき、父に手伝ってもらいながら宿題の絵を描いた、なつかしい思い出。

昨年、高松高校美術部 OB・OG 会「一期一絵」出展のお誘いがあり、今は亡き、父と描いた思い出の場所で、「栗林公園」を描くことに決めました。

ちょうど同じ場所で、最近撮った写真が、3 枚あります。一枚は、赤いサルズベリが咲く、お盆の頃。もう一枚は、紅葉の夜間ライトアップ。そして、大学の友を案内したときの、秋雨の午後一枚。ながめて心がなごむ、やわらかい絵が描きたかったので、秋雨の一枚を選びました。向かって左の、小径の白い点々は、ライトアップ用の、ライトの白い覆い。オレンジが紅葉です。

やはり絵も、思い出のある場所や、好きな人がモデルだと、うまく描けるような気がします。大学の先輩でもあり、徳島の職場でもご一緒させていただいた、邊見先輩から、表紙採用の話をいただいた時は、「ビギナーズラック」の幸運をいただいたようで、本当に、うれしかったです。

卒業後は油絵オンリーでしたが、これを励みに、退職後に始めた水彩画・・・これからも続けていこうと思います。ありがとうございました。そしていつか、職場から四季折々の表情が見れた、眉山も・・・描きに参ろうと思います。

目次

表紙題字：山下 俊文

表紙絵画：榎本 鈴代

表紙絵画「栗林公園」への寄稿〔玉翠会員〕 榎本 鈴代

ごあいさつ〔徳島玉翠会会長〕 長尾 哲見	0 2
ごあいさつ〔香川県立高松高等学校長〕 出射 隆文	0 3
第26回 徳島玉翠会総会案内・会次第	0 4
特別講演の紹介〔玉翠会副会長〕 佐藤 哲也	0 5
2018年度会計報告	0 6
主な活動報告、徳島玉翠会役員・事務局関係者名簿	0 7
2019年度各玉翠会総会・懇親会のご案内	0 7
第25回徳島玉翠会総会の集合写真・懇親会写真	0 8
第25回徳島玉翠会総会・懇親会の報告	
〔徳島玉翠会副会長兼事務局長〕 坂口 英則	0 9
玉翠会本部・徳島玉翠会役員、会員寄稿	
はじめまして。そして、絵本「あたごの浦」〔玉翠会副会長〕 平尾 直子	1 0
「ホームページはじめました」〔徳島玉翠会幹事〕 中原 大道	1 1
徳島クイズを振り返って〔徳島玉翠会副会長兼事務局懇親会担当〕 松原 淳	1 2
徳島玉翠会に初めて出席して〔徳島玉翠会員〕 秋本 まり子	1 4
” The TAKAKO will be with us,always “〔徳島玉翠会員〕 岡本 一磨	1 5
私の玉翠会歴〔徳島玉翠会員〕 軒原 浩	1 6
2018年度各玉翠会総会・懇親会の報告	
東京玉翠会〔徳島玉翠会会長〕 長尾 哲見	1 8
関西玉翠会〔徳島玉翠会幹事〕 伊賀 弘起	1 9
岡山玉翠会〔徳島玉翠会幹事〕 岡澤 恵美子	2 0
徳島玉翠会会則	2 1
2018年度会費納入者	2 2
編集後記〔徳島玉翠会事務局編集担当〕 邊見 千香	2 3

***

賛助広告ご芳名

旭鉱石株式会社

いのもと眼科・内科

北條病院

医療法人医生会 宮内クリニック

いしたに耳鼻咽喉科クリニック

小竹興業株式会社

丸浦工業株式会社

(五十音順)

ごあいさつ

徳島玉翠会会長 長尾 哲見(昭和 44 年卒)

今年は年明けから子供の虐待事件のニュースが続き誠に痛ましい限りです。動物でも本能で子供を大切にします。人間は動物の本能も失ったのかと本当に情けなくなります。

一方、明るいニュースとして大阪出身の大坂なおみさんが全米の初優勝に続き、全豪でも優勝し、世界ランキングで1位になった事は嬉しい限りです。また、大坂選手のコメントも素晴らしいものでした。

また、将棋や碁の世界や、卓球を始めスポーツの分野でも10代、20代の若い人達の活躍のニュースは来年日本で開催される2020東京オリンピックに益々期待が高まります。

私事ですが平成3年に県議会議員に初当選して以来、7期28年となり、この4月で勇退致し、5月からは無職・年金生活に入ります。

振り返れば平成5年に発足した徳島玉翠会も今年で第26回総会を迎え、月日の経つのは本当に早いものと実感しています。

平成21年1月10日の第15回総会で会長を仰せつかり10年になりますが役員の皆様に支えられ何とかやってきましたが、今後は少し時間的に余裕が出来ると思いますので徳島支部発展の為に頑張りたいと思います。

今後とも徳島支部の役員を始め会員の皆様にはご協力の程何卒宜しくお願い致します。

最後になりましたが会員の皆様のご健勝とご多幸を祈念申し上げます。



ごあいさつ

香川県立高松高等学校長

いでい
出射 隆文

第26回徳島玉翠会総会が開催されますこと心よりお祝いを申し上げます。平成6年から創始された徳島玉翠会ですが、第26回目は新しい元号での最初の記念すべき総会でもあります。また、昨年度第25回の節目を迎え、新たな四半世紀のスタートとなります。

また、在校生による徳島大学医学部訪問に格段のご高配をいただくなど、本校の教育活動に深いご理解と多大なるご支援を賜り、学校を代表して厚くお礼申し上げます。



昨年度は、野球部が第100回全国高等学校野球選手権記念香川大会において、強豪校に次々と逆転で勝利し決勝に進出いたしました。決勝戦で丸亀城西高校(旧丸亀商業高校)に敗れ84年ぶりの夏の甲子園出場、第1回大会出場チームの第100回記念大会の出場は叶いませんでした。香川県営野球場(レクザムスタジアム)に県内外から多くの同窓生が集結し、生徒、教員など一体となって応援する姿に高松高校のパワーを感じることができました。

その他の運動部・文化部の生徒も香川県総合体育大会や香川県総合文化祭などに参加し、その結果、四国大会、全国大会にも出場するなど活躍しております。また、今年2月には県下の応援団が一堂に会する「香川県応援フェスティバル」が開催され、本校の応援委員会も参加しました。昨年新調した応援旗を掲げ、伝統ある高松高校の応援を披露することで、昨年夏の猛暑の中での野球応援が再現され、とても感動的でした。

ところで、私自身、昨年4月に高松高校に赴任して以来、東海、徳島、東京、関西の玉翠会に参加させていただきましたが、昭和60年度から3年間赴任した当時の多くの教え子と30年以上ぶりに再会することができました。高松高校の校長として1年あまり経ちますが、多くの卒業生とのご縁に感謝申し上げます。

2022年には高校生最大のスポーツの祭典であるインターハイが、四国四県で開催されることが決まり、開会式は徳島県で実施されることになっています。昨年度から香川県高等学校体育連盟の会長職を務めていることもあり、この四国インターハイの開催により、四国のスポーツ全体が盛り上がることを期待しております。

終わりにになりましたが、本総会の盛会とご参会の皆様方のますますのご健勝、徳島玉翠会の更なるご隆盛を祈念いたしまして、ご挨拶とさせていただきます。



第26回 徳島玉翠会総会案内

日 時：令和元年6月22日(土) 15:00～18:40

会 場：ザ グランドパレス

〒770-0831 徳島市寺島本町西 1-60-1

Tel：088-626-1111 Fax：088-626-4565

URL：http://www.gphotel.jp

Mail：mail@gphotel.jp



会 次 第

特別講演 (15:00～15:30)

「こんなに違う！四国四県の酒（と、四県の酒蔵の親父の性格）」

及び懇親会にて「試飲で巡る四国酒蔵88箇所」

四国なんでも88箇所推進協会会長

佐藤 哲也（玉翠会副会長・昭和54年卒）

総 会 (15:30～15:50)

一、開会の辞

一、徳島玉翠会会長挨拶 長尾 哲見（昭和44年卒）

一、総会議事

2018年度（平成30年度）会計報告

2018年度（平成30年度）会計監査報告

2018年度（平成30年度）活動報告

その他

一、来賓紹介・挨拶

一、役員紹介

一、閉会の辞

写真撮影 (15:50～16:00)

懇親会 (16:00～18:40)

一、開会の辞

一、徳島玉翠会会長挨拶 長尾 哲見

一、来賓挨拶

一、乾杯

一、懇親

一、出席者1分間スピーチ

一、恒例徳島クイズ

一、校歌斉唱

一、万歳三唱

一、閉会の辞

特別講演の紹介

講演者 さとう てつや 佐藤 哲也 （玉翠会副会長・昭和 54 年卒）四国なんでも 88 箇所推進協議会会長

略歴

1960 年 香川県高松市栗林町に出生
1967 年 私立栗林幼稚園卒園
1973 年 高松市立栗林小学校卒業
1976 年 高松市立桜町中学校卒業
1979 年 香川県立高松高等学校卒業
1984 年 早稲田大学政治経済学部政治学科卒業
同年 株式会社西武百貨店入社
1986 年 実家からの呼び戻しで退職し株式会社久本酒店に入社
1992 年 父親である先代社長の急逝により代表取締役就任
1999 年～2010 年
『麺通団』にて「うどん 88 箇所巡礼」等々の事業に携わる
2008 年 四国なんでも 88 箇所推進協議会が活動開始
2013 年 高松高等学校玉翠会 120 周年事業実行委員長という名の使いっ走り役
2015 年 高松高等学校玉翠会副会長という名の用務員役

演題 「こんなに違う！四国四県の酒 （と、四県の酒蔵の親父の性格）」
及び懇親会にて「試飲で巡る四国酒蔵 88 箇所」

趣旨 ご存じ四国四県は地域により気候も風土もバラバラです。その地域で 100 年以上に渡り酒造りをしている酒蔵の当主達は見事に地域の「気質」を受け継いでおります。その違いをご説明することで彼らが醸し出す各県産酒の酒質の違いを考察していきます。

懇親会では『四国酒蔵 88 箇所巡礼』より四国中のお酒を各県別にピックアップして試飲していただきます。懇親会人数分の数の酒蔵の酒をご用意いたしますので、出席者が増えれば増えるほど、たくさんの種類のお酒をご賞味いただけますので、こぞってご参加ください。また、すべてが空になるまで中締めは行いませんので二次会のご心配もありません。会の性格上、医療関係者の方も充実しておられるようですので、もしもの際も安心です。(笑)

参考 こちらからお手持ちのスマホでホームページをご覧ください。またはパソコンの検索エンジンで『四国なんでも 88』を検索して頂き、そこから各シリーズのホームページをご覧ください。なられば、よりわかりやすいと思います。



2018年度 会計報告

(2018年4月～2019年3月)

項目	2017年度	2018年度	増減	備考
前年度より繰越	910,802	1,013,524	△102,722	

収入の部

項目	2017年度	2018年度	増減	備考
年会費	187,000	165,000	▼22,000	69名
広告収入	238,900	199,110	▼39,790	9件
総会・懇親会費	144,100	168,000	△23,900	
寄付収入	80,000	70,000	▼10,000	
利子	8	9	△1	
収入合計	650,008	602,119	▼47,889	

支出の部

項目	2017年度	2018年度	増減	備考
通信費	46,310	56,958	△10,648	
事務用消耗品	1,360	216	▼1,144	
寄付・祝い金	40,000	30,000	▼10,000	
交通費援助金	35,765	6,350	▼29,415	
委託費	407,116	411,156	△4,040	グランドパレス(総会・懇親会): 202,500 松下印刷(徳島玉翠会誌): 208,656
雑費	16,735	76,463	△59,728	HP作製費: 54,000
支出合計	547,286	581,143	△33,857	

次年度繰越金	1,013,524	1,034,500	△20,976
--------	-----------	-----------	---------

徳島玉翠会の2018年度収支決算について、帳簿及び関係諸帳票を
監査したところ、適正に執行されていることを確認したので報告します。

2019年 4月 6日

監事

寺嶋 吉保

- ・ 廃プラのマテリアルリサイクル ・ 廃プラ・木屑等の固形燃料化
- ・ 木屑・廃プラ・汚泥等のサーマル焼却 ・ 砕石及び再生砕石の製造販売

旭鉱石株式会社

代表取締役 漆原 本晴 (昭和43年卒)

〒771-4265 徳島市飯谷町枇杷の久保13番地4

TEL 088-645-0169 (代表) 088-645-0373 (注文受付)

FAX 088-645-1575

主な活動報告

年 月 日	内 容	場 所
2018年 6月 4日	第25回徳玉会役員会・総会準備委員会（第4回）	ぼんじゅうる
6月20日	第25回徳玉会役員会・総会準備委員会（第5回）	ザ グランドパレス
6月23日	第25回徳島玉翠会総会・懇親会	ザ グランドパレス
7月 7日	第36回東京玉翠会総会（長尾会長出席）	グランドプリンス新高輪
8月27日	第25回総会反省会・暑気払い	HIDEKURA
10月20日	第25回関西玉翠会総会（伊賀幹事出席）	太閤園
11月10日	第40回岡山玉翠会総会（岡澤幹事出席）	アークホテル岡山
12月21日	第26回徳玉会役員会・総会準備委員会（第1回）	ぼんじゅうる
2019年 3月25日	第26回徳玉会役員会・総会準備委員会（第2回）	ぼんじゅうる
4月 6日	2018年度会計監査（中村会計担当・寺嶋監事）	徳島市内喫茶店
5月12日	第26回総会誌送付作業・総会準備委員会（第3回）	徳大青藍会館会議室

徳島玉翠会役員・事務局関係者

役員名簿

役 職	氏 名	卒 年	役 職	氏 名	卒 年
会 長	長 尾 哲 見	昭和 4 4	副会長兼会計	中 村 芳 正	昭和 4 2
副 会 長	香 川 典 子	昭和 4 7	副会長兼事務局長	坂 口 英 則	昭和 4 8
副 会 長	松 原 淳	昭和 6 0	監 事	寺 嶋 吉 保	昭和 4 8
幹 事	岡澤恵美子	昭和 3 5	幹 事	七 條 政 志	昭和 4 3
幹 事	伊 賀 弘 起	昭和 5 1	幹 事	丸 浦 世 造	昭和 5 1
幹 事	塩 見 一 義	昭和 5 3	幹 事	西 良 浩 一	昭和 5 7
幹 事	加 藤 弘 道	昭和 5 8	幹 事	佐々木園子	昭和 5 8
幹 事	中 原 大 道	平成 6	幹 事	吉田守美子	平成 7
幹 事	山 下 一 太	平成 8			

事務局名簿

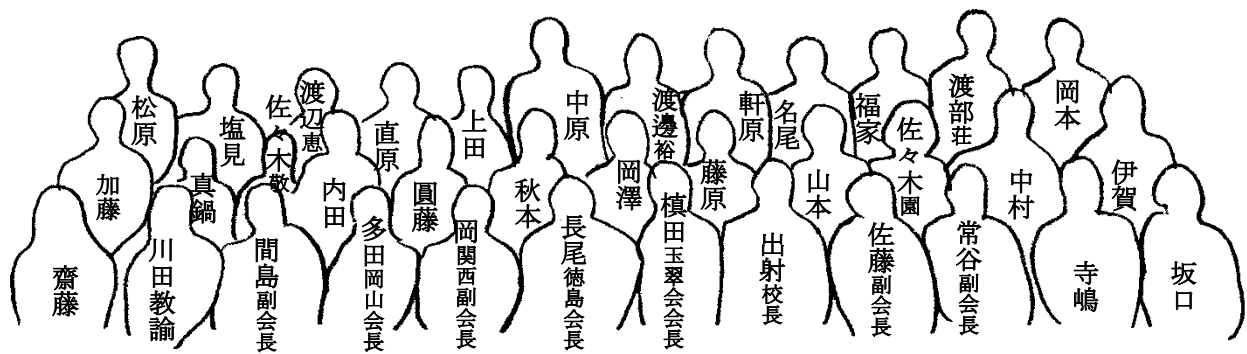
事務局長	坂 口 英 則	昭和 4 8	会計担当	中 村 芳 正	昭和 4 2
編集担当	邊 見 千 香	昭和 4 9	名簿担当	坂 口 英 則	昭和 4 8
懇親会担当	松 原 淳	昭和 6 0	HP担当	中 原 大 道	平成 6

2019年度各玉翠会総会・懇親会のご案内

玉翠会名	事務局長	日 時	会 場
東海玉翠会	菅野正朗（50年卒）	5月18日（土）16:00	名鉄グランドH
東京玉翠会	土田 充（53年卒）	7月 6日（土）16:00	グランドプリンス新高輪
関西玉翠会	田島朋子（49年卒）	10月19日（土）12:00	太閤園
岡山玉翠会	仁木 壯（46年卒）	11月 9日（土）15:30	アークH岡山

お問い合わせ・ご連絡は 事務局（連絡先は裏表紙に掲載）まで

第25回徳島玉翠会総会の集合写真



第25回徳島玉翠会総会・懇親会の報告

平成30年6月23日土曜日午後3時より、「ザ グランドパレス」において徳島玉翠会第25回総会及び懇親会が開催されました。ご来賓として、玉翠会本部から榎田 實会長、間島賢治副会長、佐藤哲也副会長、常谷忠克副会長、高松高校からは出射隆文校長、川田倫寛教諭、関西玉翠会からは岡健副会長、岡山玉翠会からは多田譲治会長のご列席を賜りました。

本会の呼び物のひとつである特別講演会では、本会の監事である寺嶋吉保様（徳島県立中央病院臨床腫瘍科部長）から「25分で分かる明るい終活 ―人生の最終段階の医療を考える基礎知識―」と題して講演いただきました。先生は日々末期癌の患者さんと向き合いながら、緩和ケアの普及に取り組んでおられます。誰もが避けて通れない死を迎えるに当たり、その心構えなり準備をしておく必要性等について分かり易くお話いただきました。また、ありがたい事に、「事前指示書」等のお土産もいただきました。

写真撮影後の懇親会では、長尾会長の挨拶の後、玉翠会会長の榎田様から、2018年2月19日玉翠会の会長・副会長会議が開催され、100周年、120周年以外で今回初めて各地の玉翠会支部にご案内を出し、もっと玉翠会のことを知っていただくため参加をして貰ったことが報告された。

出射校長先生からは、昭和60年度から3年間高高に勤務したこと、奥様の両親が徳島の山城町の出身であり徳島とは縁があること、両親3人を癌で亡くし今日の講演をしんみり聴いたこと等を話されました。

現在の高高は1学年8クラス320人で、昭和42・43年の1学年990人の3分の1となっているが、築かれた歴史・伝統を伝えつつ香川、日本、世界を支える生徒を育てたいと決意を述べられました。

乾杯の後、ご出席をいただいたご来賓の挨拶、恒例の1分間スピーチへと続きました。その後、昨年1回お休みをした恒例のクイズが行われました。徳島にまつわる難問が10問出され、皆様なかなか正解が出ない中、私事務局長は9問正解し、賞品をゲットした次第であります、エッヘン。

第25回総会の運営に関わった皆様方の奮闘努力によりトラブルもなく、またご出席いただいた会員の方々のご協力により大いに盛り上がった総会・懇親会となりましたこと、心よりお礼を申し上げますとともに次回の総会へのご出席をお願い申し上げ、報告とさせていただきます。

徳島玉翠会副会長兼事務局長 坂口 英則（昭和48年卒）

はじめまして。そして、絵本「あたごの浦」

玉翠会本部寄稿

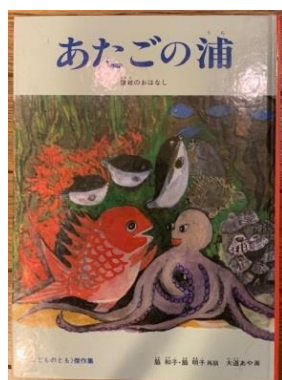
玉翠会副会長 平尾 直子(昭和 51 年卒)

徳島玉翠会のみなさま、はじめまして。昨年(平成 30 年)6 月、脇和子大先輩から櫛を受け取った平尾直子と申します。櫛を受け取ったからには、次の方につなぐまで、しっかり走りたいと思っております。どうぞ、よろしくお願いいたします。

私のことを簡単に自己紹介させていただきますと、香川大学教育学部附属幼稚園高松園舎で 8 年あまり働いた後、三人の娘の子育て中に絵本サークル「がらがらどん」を立ち上げ、運営後、1995 年に県立図書館主催「ストーリーテリング指導者養成講座」を受講した有志を中心に「おはなし紡ぎの会」を発足、初代代表を務め、今にいたります。県立図書館、幼稚園、こども園、小学校で子どもたちに昔話を語り、絵本を読み、また、家庭教育学級や県の幼稚園新規採用教員研修、短大、大学、などで大人や学生に向けての研修会等の講師を担当したり、講演会を主催したりして、子どもと本をつなぐ活動をしています。

そんな私にとって、脇和子さん、明子さん(昭和 41 年卒)親子は、尊敬する特別な存在でした。なぜなら、子どもたちに大人気の絵本「あたごの浦」(福音館書店刊)の作者(再話者)だったからです。特に明さんは、ノートルダム清心女子大学児童学科教授を務められ、数々の絵本や岩波少年文庫をはじめ、たくさんの児童文学を翻訳され、また児童文学についての本も執筆され、児童文学界に多大なる貢献をされてきました。高高で講演をされたことも、きっかけとなり、仲間と共に和子さん宅を訪問して以来、親しくさせていただいています。このご縁で、私に櫛が渡されたのでした。

さて、ここで、「あたごの浦」の絵本をご紹介します。このお話は、讃岐、つまり香川県の高松の脇家で代々語り継がれてきたお話です。舞台は、今のサンポートの西あたり、愛宕神社の裏の浜。穏やかな瀬戸内海の魚たちが、きれいな月夜の晩に誘われて浜で演芸会を開きます。たこが松の木にのぼって八本の足を小枝のあいだから、たたり一つとたらし「松に下がり藤、これどうじゃ」と言うと他の魚たちが「妙々々々々」とはやしたて……といったぐあい、愉快なやりとりが展開していきます。この「みょうみょうみょうみょうみょう」というのはやし言葉が子どもたちは大好きです。絵を手掛けられた大道あやさんの画は力強く優しく、このお話にぴったりです。今は、コンクリートで固められてしまった浦ですが、昔は、よせてはかえす波の音の心地よさ、月の光に照らされた水面や砂浜の美しさ、のんびりと演芸会をひらく魚たちの楽しげなさま……そんな大らかで豊かな時があったことを伝えています。大人である私たちも、その美しさ、豊かさを再認識させられます。一家に一冊、お子さん、お孫さん、曾孫さんに、ぜひ読んであげてほしい絵本です。「前はとんとんあったんやと。」と読んであげながら、懐かしい讃岐弁にも浸ってみてください。



※「あたごの浦」の絵本については、脇明子さんの出版当時の解説を参考にさせていただきました

「ホームページははじめました」

徳島玉翠会役員寄稿

徳島玉翠会幹事 中原 大道(平成6年卒)

徳島玉翠会のホームページができました！

といっても以前からあることにはあるのですが、どうやら何年も更新が途絶えていたようでして…。この度、玉翠会本部と共通のスタイルでの公式ホームページを立ち上げました。ということで「徳島玉翠会」で検索しても従来のホームページが出てきてしまいます。これからは「公式)徳島玉翠会」で検索してみてください。いや、この機会に是非「公式)徳島玉翠会」をブックマークに追加しておいてください。QRコードが利用できる方は下のQRコードからもアクセスできます。

さて、このホームページでは会長挨拶、役員名簿や事務局について、お問い合わせフォームなどホームページとして必要な情報はもちろんのこと、ギャラリーページでは昨年6月に開催された第25回総会の様子を見ることができます。また、玉翠会だよりのページでは「徳島玉翠会20回までの歩み」と「第25回総会誌」をPDFファイルで閲覧していただくことができるようになりました。年々これらのコンテンツは充実していく予定です。

このホームページができたことにより総会に参加したくてもできなかった方々にも懐かしい顔を見ていただくこともできるようになり、他の地域に在住の方にも総会誌を閲覧していただくことができるようになりました。それが嬉しいことなのかどうかは人それぞれでしょうが、まだご覧になっていないかたは是非一度「公式)徳島玉翠会」ホームページにパソコンやスマートフォンからアクセスしてみてください。

まだ出来上がったばかりのホームページですので、皆様からのご意見・ご感想をお待ちしております。



お知らせ 会長のご挨拶 役員・幹事名簿 事務局 ギャラリー お問い合わせ 徳島玉翠会だより

トップページ



QRコード

徳島クイズを振り返って

徳島玉翠会役員寄稿

徳島玉翠会副会長兼事務局懇親会担当 松原 淳（昭和60年卒）

徳島玉翠会事務局で2015年から懇親会（主にクイズ）を担当しています。今年で4シリーズ目となる徳島クイズについて、振り返ってみたいと思います。

毎年の徳島玉翠会懇親会でのこの余興は、2014年までは「高高クイズ」として好評を得ていたものです。この企画を引き継ぐにあたり、クイズのネタを広げるために対象を徳島関連とし、新たに「徳島クイズ」と銘打つことにしました。出題にあたっては、毎回テーマを決めて問題を選べば面白かろうと考えました。

2015年の第1回では、地理・歴史編として10問の出題をしました。四国八十八か所や徳島藩主蜂須賀家からの出題では、知っているようで知らないことも多かったようです。

2016年の第2回では、偉人編として長井長義と鳥居龍蔵を取り上げました。長井長義は幕末～大正期に活躍した徳島出身の科学者です。日本薬学会初代会頭であり、日本の近代薬学の開祖とも呼ばれています。こちらの出題については、医学薬学関係者にはなじみ深いものであったかもしれません。もう一人の鳥居龍蔵は明治後期～昭和期に活躍した徳島出身の人類学者です。2011年1月の第17回徳島玉翠会総会において、石尾和仁先生による特別講演でも紹介されましたので、こちらもおなじみのものであったかもしれません。

2018年の第3回は、国際交流編としました。1918年6月1日に、徳島県の板東捕虜収容所において、ドイツ人捕虜によりベートーベン作曲の《交響曲第9番》がアジアで初めて演奏されました。100周年となった去年は、徳島県はこの話題で大いに盛り上がっていたため、徳島クイズでも取り上げることにしました。新鮮な話題であったので、全体の正解率も高かったようです。

さて、この原稿執筆時には、今年の第4回のテーマはまだぼんやり構想しているだけです。本番までには10問できているはずです・・・お楽しみに。



第1回 地理・歴史編



第2回 偉人編



第3回 国際交流編

オマケです。第1回のクイズを再掲載します。答えはページの一番下です。

第1問

・「阿波」の国名の由来は諸説ありますが、日本にはもう一つ、恐らく「阿波」から派生したとされる「アウ」国があります。その「アウ」国の所在地は現在の何県でしょう？

- A) 茨城県
- B) 千葉県
- C) 埼玉県

第2問

・四国八十八カ所は一般には815年に空海自らが開いたといわれますが、実際には彼の没後に開かれた霊場が多いとのこと。さて、徳島県内にはいくつの札所があるでしょう？

- A) 21
- B) 22
- C) 23

第3問

・四国八十八カ所の中には、非常に山深いところに建つお寺もあります。では、徳島県下の札所で最高地点にある札所は、次のどれでしょう？

- A) 12番 焼山寺
- B) 20番 鶴林寺
- C) 21番 太龍寺

第4問

・歴代の徳島藩主を務めた蜂須賀家とは、豊臣秀吉の片腕として有名な「小六」と蜂須賀正勝の子孫ということ。はご存知だと思います。では、初代藩主の名前は？

- A) 蜂須賀家政(いえまさ)
- B) 蜂須賀重喜(しげよし)
- C) 蜂須賀至鎮(よししげ)

第5問

・阿波国の領主となった藩祖家政は、阿波国内に城を築き、その城に腹心の部下を配置しました。これらの城はまとめて「阿波〇城」と呼ばれました。〇に入る数字は何？

- A) 五
- B) 七
- C) 九

第6問

・藩祖家政は、当初は一宮城を居城としましたが、秀吉の命により徳島城を建設します。その徳島城も残念ながら明治維新後に解体されてしまいました。ここに示すのは解体前の姿を知る唯一の写真とされていますが、さて中央に写った建物の名前は？

- A) 天守
- B) 太鼓櫓
- C) 月見櫓



第7問

・徳島城の天守が建っていた場所は？

- A) 本丸
- B) 東二の丸
- C) 西二の丸

第8問

・明治2年の版籍奉還により、蜂須賀氏が知藩事となり、阿波国・淡路国を統治することになります。ところが、洲本家臣団は洲本藩の徳島藩からの分藩独立を目指します。それに対して徳島藩の家臣の一部が明治3年、洲本城下の屋敷町を襲撃して事件に発展します。事件を重く見た明治政府が関係者を取り調べ、喧嘩両成敗の判決を下します。すなわち、洲本家臣団は北海道に移住、徳島藩士10名には切腹が申し渡されます。これは公式判決としては日本史上最後の切腹とされています。さて、この事件は何と呼ばれるでしょう。

- A) 稲田騒動
- B) 淡路騒動
- C) 阿波騒動

第9問

・明治維新後の廃藩置県により、短い間ですが「名東県」が存在しました。その名東県としての最大の範囲は次のどれでしょう？

- A) 阿波＋淡路
- B) 阿波＋淡路＋讃岐
- C) 阿波＋土佐

第10問

・平成の大合併では、平成17年(2005)をピークに全国で市町村が合併し、自治体の数が大きく減少しました。徳島県は平成16年(2004)には50市町村がありましたが、さて現在はいくつあるでしょう？

- A) 23
- B) 24
- C) 25

答え

第1問：B、第2問：C、第3問：A、第4問：C、第5問：C、第6問：C、第7問：B、第8問：A、第9問：B、第10問：B

徳島玉翠会に初めて出席して

徳島玉翠会員寄稿

秋本 まり子（昭和44年卒）

私は、高松高校を昭和44年に卒業しました。その後、同窓会費を納めるだけで、会には一度も出席しませんでした。が初めて去年6月出席しました。

今、私は鳴門に住んでいます。そもそも、高松高校を卒業され現在徳島に住んでいらっしゃる方々はそれぞれの理由がおりでしょう。

私の場合、両親とも徳島の人で鳴門に生まれましたが3才の時父の転勤で高松へ。成人するまで在住しました。その間中3から高2までは、高知でした。高松高校へは高3の春、土佐高校から編入しました。編入試験はとてもむずかしく数学ができなかった自分がどうして入れたか今だに疑問です。

小中で仲の良かった友が高3で一緒のクラスにいてとても嬉しかったです。去年の徳島玉翠会でお会いした榎田實会長も付属中学校でのバレーボール部先輩でいらっしゃいます。

その後縁あって鳴門出身の主人と結婚、色々引越もありましたが今のところに落ち着いています。今は孫もいる年となり、幸い身体も元気なので趣味（油絵、ジャズヴォーカル）を楽しんだり、日本の古典を知りたくて源氏物語の教室に通っています。源氏ゆかりの京都や奈良の地を巡るのも楽しいことです。

最近「時」のことをよく考えるようになりました。年のせいでしょうか..... 去年の寺嶋吉保先生の講演、「25分で分かる明るい終活」はこれからの時を考える良い材料になりました。又ふり返ると幼少から10代までの時を過ごした高松の思い出は貴重で、高松高校は私の芯になっていると思います。徳島玉翠会に出て会員の皆さまと歓談し、高松、高松高校に思いをはせるのは私にとってありがたい機会です。今後ともよろしくお願いします。



神戸 JAZZ クルーズ、夫と



京都、宇治平等院

“The TAKAKO will be with us, a l ways”

徳島玉翠会員寄稿

岡本 一磨（昭和50年卒）

今、ドローンがいろいろな分野で大活躍です。ニュース報道や動画サイトなどで、自然界のさまざまな姿や街のようすなどドローンによる空撮映像を目にしない日はありません。荷物の運搬、工事などの作業、イベントなどでも注目されつつあります。掌に乗るほどのサイズのドローンなら、小学生のお小遣いでも手に入れられるようになりました。個人的な趣味の世界から企業の活動まで、これからもその用途がますます広がってゆくでしょう。当然のことながら、決して人々の脅威となるのではなく、あくまでも平和な目的への利用が広がることを願うばかりです。

その「ドローン」。このことばには別の意味があります。それに私が初めて接したのは、もう40年も前の大学生時代、とあるクラシック音楽番組で音楽評論家の「この曲に流れるドローンには・・・」とのつぶやきを耳にした時に遡ります。「ん！ドローンって？」。今と違い、サクッとネットで検索できるような手段はなく、一般的な辞書にも掲載がなく、“DRONE”という結構単純なつづりにも思い至らず、ようよう音楽辞典か何かでこれが「通奏低音」を表すことばであるとの説明に行きあたりました（諸説あるようです）。

小学校で習ったピアノや、中学校から大学まで続けた吹奏楽をきっかけに、クラシック音楽への興味を深め、今もささやかな趣味として楽しんでいます。例えばバロック音楽などにおいて、旋律の動きにかかわらず、文字どおり「ずっと通して繰り返し奏でられ続けている低音部」がこのドローン～通奏低音です。スコットランドの民族楽器としておなじみのバグパイプの演奏を聴かれたことがある方でしたら、ずっと鳴り続けている中低音に気付かれているかもしれませんが、これも通奏低音のひとつです。

音楽の旋律が旋律たるために、いわゆる縁の下の力持ちとして、要となって楽曲全体を支えているのが通奏低音といっても過言ではないのですが、私の人生にとっては、高松高校での3年間こそがまさにこの「通奏低音」そのものであると思います。

おかげさまで今のところ心身ともに健康体でいられることはありがたいと思いつつ、すでに還暦を過ぎ、人生も秋本番かなという時期でもあります。これまでの悲喜こもごもの出来事が思い出というよりむしろ「郷愁」のような趣でよみがえります。

その中で最近あらためて感じるのは、高松高校での3年間の高校生生活をとおして、その校風と共に培われたすべてのことが、それ以降の人生におけるどのような喜怒哀楽の場においても、いくつかの艱難辛苦の場においても、それらをしっかりと包み込み支えとなってくれた、そしてこれからも包み込み支えてくれるであろう不思議な力を放ち続けているという思いです。人生において、長調、短調どのような旋律が奏でられても、それを支える「不変の通奏低音」そのもののなのです。

これは理屈ではなく、高高時代を経験しただれもが持ち合わせている、映画スターウォーズのフォース“The Force will be with you, always”（～フォースはいつも君と共にある）のようなものかもしれません。まさに“The Drone will be with me, always”ですし、“The TAKAKO will be with us, always”です。

私の玉翠会歴

徳島玉翠会員寄稿

軒原 浩（昭和 62 年卒）

2018 年度より徳島玉翠会に仲間入りをさせていただきました軒原浩（のきはら ひろし）です。高松高校（高高）を卒業後、1988 年に徳島大学医学部に進学し、2000 年まで徳島で生活していました。学生時代は学部には高会があり、新入生歓迎会、卒業生送別会の年 2 回の会合に参加し、高会名簿の作成等も行っていました。卒業後、職場で高会の先輩にお世話になることは多々ありましたが、残念ながら玉翠会に参加することはありませんでした。

そんな私が玉翠会に参加するきっかけとなったのが東京玉翠会です。2000 年から東京の病院に勤務するようになり、同級生からの誘いもあり、東京玉翠会総会に参加しました。ご存知のように東京玉翠会総会は毎年 7 月に開催され、1000 人を超える高会卒業生が集まります。総会は学年を超えたつながりの場で、2 次会が各学年の近況報告の場となります。そして卒後 25 年目に総会幹事学年の役割が巡ってきます。幹事代表を中心に総務パート、会計パート、広告パート、進行パート、動員パート、来賓パート、プログラムパート等に分かれ、総会に向けて 1 年間準備をします。最初は正直、「面倒くさいな～」と思っていましたが、やってみると意外と楽しいものでした。社会人となって高会の同級生と一緒に一つの仕事をするのはおそらく最初で最後の機会であったかもしれません。「あいつ仕事速いし、意外とやるやん」、「あいつ意外とまめやん」、「あいつ相変わらずやのー」と新しい発見や再認識が目白押しでした。忙しい日常の仕事の合間での準備で大変だったのですが、それ以上に得られたものは大きかったです。25 年の年月で少し離れつつあった同級生との距離がぐっと縮まるきっかけとなりました。私たちの学年が幹事であった 2011 年の第 29 回東京玉翠会には同級生が 60 人以上参加し、無事に幹事の大役を終えました。それ以来、東京玉翠会には、ほぼ毎年参加し、今でも都合がつけば参加しています。

その後、2017 年 1 月に徳島に戻ってきました。2017 年 10 月には翌年に幹事学年となることで同級生からの招集がかかり、関西玉翠会総会に参加しました。関西玉翠会総会には東京玉翠会総会とは違ったノリと催し物がありました。余談ですが、関西玉翠会総会の 2 次会で同級生の高会野球部の石田茂登監督が私に「来年の夏は本気で甲子園ねらっとんや。」と打ち明けてくれました。お酒も入っていたので全く相手にしていませんでしたが、香川大会決勝が行われた 2018 年 7 月 23 日には居ても立っても居られず、レクザムスタジアム（生島球場）に向かっていた。残念ながら第 1 回大会出場校の 100 回記念大会出場は叶いませんでしたが、ひたむきにプレーする選手、それを応援する高会生、父兄、卒業生を見ると胸に熱いものがこみ上げてきました。ちなみに私は 3 年間応援団に所属し、野球部を応援しましたが、夏は 3 年連続 1 回戦負けでした。

2018 年には徳島玉翠会からも総会の案内をいただき、参加させていただきました。初めての参加で知り合いもほとんどいませんでしたが、「高会卒」というだけでたぶん何とか入っていける、受け入れてもらえるという気になれました。それも東京玉翠会、関西玉翠会から経験が生きているのかもしれませんが。実際、学年も全く違う初対面の方々に温かく迎えていただき、楽しい時間を過ごせました。そして 2019 年 1 月 2 日にはリーガホテルゼ

スト高松で昭和 62 年卒同窓会が開催されました。卒後初めての学年全体の同窓会で 200 人以上の同窓生が集まりました。高卒の同級生、そして玉翠会はいくつになっても楽しめる場所のように感じます。

私たち高卒卒業生にとって「高卒」は一種のマジックワードです。高卒というだけで初めての相手であっても受け入れやすく、逆に輪の中に入っていくことも容易になります。話題も事欠きません。また、玉翠会を通じて人脈、縁が生まれ、人間関係が豊かになります。そして人生を楽しむことができます。今後も「高卒」を誇りに、玉翠会に積極的に参加していきたいと思っています。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



←第 29 回東京玉翠会パンフレット表紙



↑ 追加点をあげ甲子園に行けるかもと思った第 100 回全国高校野球選手権記念香川大会決勝 6 回表



200 名以上が参加した昭和 62 年卒同窓会



昭和 62 年卒同窓会 2 次会

東京玉翠会総会に参加して

東京玉翠会出席報告

徳島玉翠会会長 長尾 哲見（昭和 44 年卒）

平成 30 年 7 月 7 日午後 4 時半から品川のグランドホテル新高輪飛天の間で開催された第 36 回東京玉翠会総会に徳島支部を代表して出席しました。

総会のテーマは「Hey! Say! See!（平・成・史）～高高 平成の軌跡～」で平成最後の総会となる事から大きな節目の総会でした。

西日本豪雨に見舞われた中ではありましたが無事開催され、参加者も 971 名との事でした。

懇親会の冒頭ではなんと世界初の「うどんで乾杯!」のユニークな開宴と同時に讃岐うどんを食べた人数で、再度、日本一を達成するという「うどん県・香川」の本領発揮でした。

余興では昭和 47 年卒のジャズベーシストの藤原清登さんと平成 6 年卒の尺八奏者の小濱明人さんの珍しいコラボコンサートや母校平成 30 年の軌跡紹介プログラムなどが披露されました。

懇親会では東京玉翠会の渡辺修会長、玉翠会本部の槇田實会長、出射隆文高松高校校長、松平頼武東京香川県人会会長らと懇談、記念の写真に納まりました。

また、第 36 回総会の担当学年幹事（平成 6 年卒）が壇上で紹介され参加者から感謝の拍手がありました。東京支部は若い人が多く毎年運営する世代が 1 年事に交代、若返りしていける事は羨ましい限りです。

終了後には新橋で 44 年卒同期による二次会を開催し、お互い近況を語り合い楽しいひと時を過ごしました。



東京玉翠会渡辺 修会長と



東京玉翠会コラボコンサート



東京玉翠会運営委員



東京玉翠会同期の 2 次会

関西玉翠会に参加して

関西玉翠会出席報告

徳島玉翠会幹事 伊賀 弘起（昭和51年卒）

平成30年10月20日（土）「太閤園」で開催された第25回関西玉翠会総会に徳島玉翠会長尾会長の名代として初めて参加してまいりました。

総会に先立ち、来賓が集められ、玉翠会間島副会長から「本部玉翠会年会費納入のお願い」と各支部の会誌にその件を掲載して頂きたい旨のお願いがありました。またその席では玉翠会本部をはじめ各支部会の代表の方々へ本年の徳島玉翠会総会への参加の御礼を申し上げたことを御報告致します。

昭和62年卒業生が幹事を務められた本総会は「平成最後の“かんぎょく”～みんなで来まい！讃岐のええところ再発見～」のテーマのもとに約300名の会員が集い、壮大な総会が進められましたが、初参加の私は「かんぎょく」の団結力に終始圧倒の連続でした。

まずは亡くなられた方への黙とう、関西玉翠会樋口順一会長のご挨拶、来賓の紹介、玉翠会間島賢治副会長のご挨拶に続き、高松高校出射隆文校長の乾杯で懇親会が始まりました。なんとその直後に、サプライズゲストとして宝塚歌劇団花組の男役「羽立光来」様（高松高校在籍1年）が入場し、見事な歌とダンスを披露、会場はまさにディナーショーの世界でした（撮影厳禁）。その後は日本で5番目の「マスター・オブ・ウイスキー」に選ばれた石原裕三様（S62卒）によるウイスキー利き酒会、馬場信之様によるサヌカイト講座、瀬戸内国際芸術祭推進課長吉川健司様による瀬戸内国際芸術祭2019のご案内、国際的ピアニスト「松田華音」様（S62卒）のビデオレターと続けました。

そして懇親会の後半は野球部監督石田茂登様へのインタビュー、応援団とブラスバンド部による演舞でした。「なぜ地区大会で勝ち続けられたのか？」、「決勝戦でなぜ丸亀城西高校に惜敗したのか？」、「来年はどうか？」など多くの質問が飛び交う中で、突然出射校長が登壇され、「甲子園への切符を逃したことをお詫びします」と校長、監督、インタビュアーの3名が壇上で土下座を始めたのです。これには会場騒然となりましたが、最後は拍手の渦となり、学校歌斉唱へと移りました。高中校歌、県女校歌、高高校歌へと進み、最後は次年度幹事（S63年卒）への幹事引継ぎで閉会となりました。最後になりましたが本総会の司会を徳島大学歯学部卒業生山上玲子氏が務めていたことを申し添えて関西玉翠会総会の御報告といたします。



石原裕三氏による
ウイスキー利き酒会



野球部石田監督への
インタビュー



応援団とブラスバンド部
による演舞

岡山玉翠会に参加して

岡山玉翠会出席報告

徳島玉翠会幹事 岡澤 恵美子（昭和 35 年卒）

平成 30 年 11 月 10 日（土）アークホテル岡山で開催された第 40 回岡山玉翠会総会に参加させていただきました。

今回で三度目の訪問ですが、なんと、総会参加者が年々増加しているのです。

総会の規模が徳島玉翠会とよく似ていて、とても親近感を持っていたのですが、いつの間にかスーッと抜かれていました。

4 年前には岡山玉翠会では行われていなかった、「特別講演」「クイズ」「1 分間スピーチ」などがあり驚きました。「徳島玉翠会の総会はとても良かったので真似をした」と言っていました。

混声合唱団「ア・カンターレ高松」の合唱・・・も。

また、ホームページも立ち上げ、岡山だけでなく近隣の島根県や鳥取県などにも呼びかけたそうです。もちろん、今回も東京、大阪、神戸、高松からの参加者がたくさんおられました。総会参加者増加のために、積極的に働きかけて色々と工夫をされているのだなと思いました。

記念講演では、「岡山玉翠会の草創期を振り返って」と題して、高松高校のルーツ、校章が二つあるのは（？）から話され興味深かったです。

徳島玉翠会も他県への働きかけをしたらどうかと思います。

例えば玉翠会のない高知県、香川県東部等々。

一人でも多くの会員さんが総会に参加され、お互いに「同じ学舎で学び、共に喜び、共に悲しみ合った出来事」を大切にしたいものです。



第 40 回 玉 翠 会 総 会 平成30年11月10日 於 アークホテル岡山

徳島玉翠会 会則

第 1 章 総 則

(名称)

第 1 条 本会 は 徳島玉翠会 と 称する。

(目的)

第 2 条 本会 は、会員の相互の連絡と親睦を図る。

2 本会 は玉翠会の徳島地区における支部として、本部のもとに母校の発展を期する。

(事業)

第 3 条 本会 は前条の目的を達する為に次の事業を行う。

一 会員相互および母校の発展に寄与する。

二 親睦を図る為に総会などを開催し、会報や会員名簿を発行する。

三 その他の必要と認められる事業。

(事務局)

第 4 条 本会 の事務局を徳島県内に置く。

第 2 章 会 員

(会員)

第 5 条 本会 の会員は、次の資格の一つを備える者とする。

一 徳島県に在住し、香川県立高松中学校、同高松高等女学校、同旧高松高等学校、同旧高松女子高等学校および同高松高等学校（以上5校を「母校」という。）の卒業生（これに準ずる者を含む。以下「通常会員」という。）

二 その他、本会の役員会が入会を認める者（以下「特別会員」という。）

(部会の設置)

第 6 条 第 3 条 の事業を行うため部会を設置することができる。

2 部会の運営は所属会員の協議による。

(会費)

第 7 条 会員は年会費を納めることとする。

2 前項の会費の額は、役員会で定める。

第 3 章 役 員

(役員)

第 8 条 本会 に次の役員を置く。

一 会 長 1 名

二 副会長 4 名

三 役員として、事務局長 1 名、会計 1 名、監事 1 名、幹事若干名、その他会長が必要と認めたものを置く。

2 本会に、役員の協議を経て名誉会長、名誉会員、顧問を置くことができる。

(役員の選出)

第 9 条 役員の選出は次のとおりとする。

一 会長及び副会長は、役員会の推薦に基づき総会で決定する。

二 その他役員は会長が推薦して役員会で決定する。

(任期)

第 10 条 会長及び副会長の任期は2年とし、再任を妨げない。

2 役員の任期は2年とし、再任を妨げない。

(役員の職務)

第 11 条 役員の職務は次のとおりとする。

一 会長は本会を代表し、会務を統率する。

二 副会長は会長を補佐し、会長に事故ある時は会長の職務を代行する。

三 事務局長は、会長の指示に従い会務を遂行する。

四 会計は、会務に必要な収支を管理し総会で報告する。

五 監事は本会の会計を監査する。

第 4 章 会 議

(総会)

第 12 条 総会 は会長の招集により、毎年 1 回開催する。

2 総会 においては次の行事を行う。

一 本会の運営に関する協議決定と会務及び会計報告

二 会員の親睦を図る行事

三 その他、必要な事業

(役員会)

第 13 条 役員会 は会長の招集により、適当な時期に開催する。

(議決)

第 14 条 総会 及び役員会の議決は、出席者の過半数をもってこれを行う。議長は会長が行い、副会長が代行することができる。可否同数の場合は議長の決するところによる。

(会計)

第 15 条 本会 の会計は、年会費および寄付金その他の収入による。

(会計年度)

第 16 条 本会 の会計年度は、毎年 4 月 1 日にはじまり翌年 3 月末に終わる。

第 5 章 会 則 の 改 正

第 17 条 この会則の改正は、役員会の議を経て総会で決定する。

第 6 章 細 則

第 18 条 この規則施行に関し、必要な細則は役員会の議を経て別に定める。

付 則

(会則の最終改正) この改正規則は、平成 21 年 1 月 10 日から施行する。

2018年度会費納入者

(平成31年3月31日現在)(敬称略)

(昭和20④年卒) 岩井 武子(昭和21年卒) 岸田 雅子、森 弥栄子(昭和23年卒) 田尾 敏子
(昭和24年卒) 井口 裕夫(昭和26年卒) 内田 英明(昭和27年卒) 大池 恭子
(昭和28年卒) 香川 信子(昭和29年卒) 羽坂 翠(昭和30年卒) 直原 弘子
(昭和31年卒) 真鍋 恭子、佐々木 敬子(昭和33年卒) 渡邊 謙、佐野 紀子
(昭和34年卒) 上田 和子、渡邊恵子(昭和35年卒) 岡澤 恵美子、宮本 仁美
(昭和36年卒) 入谷 忠光(昭和37年卒) 塩田 洋、鈴木 良子、圓藤 寿穂、圓藤 とよ子
(昭和38年卒) 水口 裕之、元木 碎香(昭和39年卒) 藤原 和子(昭和40年卒) 滝 由喜子
(昭和41年卒) 有井 静代、山本 圭子(昭和42年卒) 中村 芳正、村上 由里子
(昭和43年卒) 牛川 務(昭和44年卒) 長尾 哲見、渡部 莊三、秋本 まり子
(昭和45年卒) 米沢 基子(昭和47年卒) 香川 典子、駒木 典子
(昭和48年卒) 坂東 智子、河野 順、坂口 英則
(昭和49年卒) 東 雅之、邊見 千香(昭和50年卒) 名尾 和広、岡本一磨、猪本 康代
(昭和51年卒) 伊賀 弘起、丸浦 世造、馬木 明美(昭和52年卒) 森 康代、阿川 昌仁
(昭和53年卒) 後藤 葉子、塩見 一義(昭和54年卒) 細井 恵美子、大西 好尚
(昭和55年卒) 福家 司(昭和57年卒) 西良 浩一
(昭和58年卒) 山本 雅子、佐々木 園子、加藤 弘道(昭和59年卒) 久保 千枝
(昭和60年卒) 松原 淳(昭和61年卒) 川染 秀樹(昭和62年卒) 軒原 浩
(昭和63年卒) 山本 岐香(平成2年卒) 齋藤 友佳理
(平成6年卒) 中原 大道(平成17年卒) 山澤 有子(平成24年卒) 齋藤 尚子

会費を納入していただきありがとうございました

北 條 病 院

病院長 北條文彦(昭和48年卒)

内科/呼吸器科/循環器科/消化器科/胃腸科/
小児科/脳神経外科/整形外科/リハビリテー
ション科

診療時間：月～土 9:00～12:00

13:00～18:30

(休診日：日・祝)

〒778-0002 徳島県三好市池田町マチ 2526-7

電話：0883-72-0007 FAX:0883-72-5682

Mail: ho.jyo-hosup@galaxy.ocn.ne.jp

平成2年の開院以来、徳島県西部の病院として地域に密着した医療に取り組んで参りました。当院は、急性期を終えた後の医療と看護が心配な方のための医療保険と介護保険適応の療養型病床群です。在宅の患者さまの為に、居宅介護支援事業所・訪問診療・デイケア等も併設し、より質の高い医療・看護・介護のサービス提供を行い、地域のニーズに応え地域の皆さまに愛される病院をめざしております。

編集後記

新しい元号「令和」を迎え、まさに春の四月の初心忘れずの新年度になりました。

寒さが続いた後の今年の桜は待ち遠しいものでした。

本会の編集作業を担当させていただいて12年、昨年の総会・懇親会は初めてお休みをいただきました。90歳になる父を実家で看取った後、日頃から公園散歩会で健脚の母と家族を誘って栗林公園の夜桜を観に行き、可憐な花がこんなにも寂しいものかと涙しました。満月で照らされた桜は満開で、その下をまるで自宅の庭のように歩く母に先導され、付いて行った先のCaféの前で、1970年代によく歌ったカーペンターズの「青春の輝き」が聴こえてきました。胸に滲みて癒された時間でした。

そんな個人的な経緯もあり、お邪魔した美術部OB・OG展「一期一絵」の柔らかな水彩画の「栗林公園」を本誌の表紙にお願いした次第です。榎本鈴代様のご好意に厚く御礼申し上げます。

徳島玉翠会第26回総会誌を発行するにあたり、貴重なご寄稿をいただきました本部 平尾副会長様、佐藤副会長様、高松高校 出射校長先生、本会 中原様、松原様、秋本様、岡本様、軒原様のご協力に深く感謝申し上げます。

また、今回もご賛助頂きました広告主の皆様（p1ご芳名掲載）のお蔭で会誌を発行できました事、厚く御礼申し上げます。

最後に松下印刷様、今年も大変お世話になりました。

令和元年6月22日土曜日、総会・懇親会でお会いしましょう。

2019年4月吉日

徳島玉翠会事務局編集担当 邊見 千香(昭和49年卒)



KOTAKE

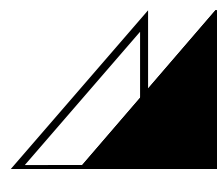
匠の心、未来へ

小竹興業株式会社

〒760-0066 高松市福岡町4丁目28番30号
TEL (087) 851-9096 FAX (087) 822-6975
<http://www.kotakekogyo.com/>

小児科・内科・循環器科・心療内科・神経内科・精神科
精神科デイケア

※臨床心理士によるカウンセリング、精神保健福祉士による、個別相談随時行っています。(要予約)



医療法人 医学生会

宮内クリニック

徳島市名東町2丁目660-1 ☎ (088) 633-5535

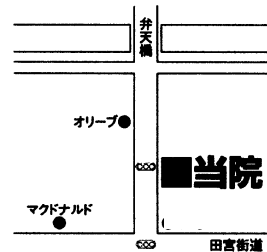
宮内 吉男 宮内 和瑞子(昭和48年卒)



いしたに耳鼻咽喉科クリニック



院長：石谷保夫
(昭和48年卒)



〒770-0006

徳島市北矢三町3丁目2-53

電話：088-633-8741

FAX：088-633-8715

診療時間	月	火	水	木	金	土
午前9:00~12:30	○	○	○	/	○	○
午後3:00~6:00	○	○	○	/	○	5:00 まで

休診日/木曜日・日曜日・祝日



いのもと 眼科 内科

院長：猪本享司(内科)・副院長：猪本(旧姓横井)康代(眼科) (昭和50年卒)

〒771-0204

徳島県板野郡北島町鯛浜字かや122-1

電話：088-698-8887

FAX：088-698-7110

<http://www.inomoto.jp>



3 丸浦工業 世紀目の挑戦

地域の課題を解決する

まちづくりとしてモノからコトへ

土地・建物

空き土地や空き建物の売却や有効活用に関する企画・提案、また設備機器等のエネルギー効率を高めるための調査・改修のお手伝いをします

すまい

一般建物、住宅建築、各種リフォーム等の建築事業補修や造成・舗装等の土木事業を設計・施工します

くらし

ハウスクリーニング、エアコンクリーニング、防犯対策、害虫駆除、草刈り・枝切り等大～小規模の住環境の「困った解決」をおこないます

全国のプロフェッショナル
企業・人材のネットワークが
当社の強みです

人

新規事業

人手不足対策から経営者の右腕まで人材の発掘と紹介のお手伝いをします

健康

新規事業

体育・食育を通じて健康増進をはかるお手伝いをします



地域や人の暮らしの価値創造に「お役立ち」する

丸浦工業株式会社

〒778-0004 徳島県三好市池田町シンマチ 1466 番地
<http://www.maruura-kogyo.co.jp/>

0883-72-1180

お気軽にお問合せください

丸浦工業

検索



第26回徳島玉翠会総会誌

2019年4月30日発行

編集・発行

徳島玉翠会事務局

〒779-3303

徳島県吉野川市川島町桑村 641-54

坂口方

TEL 090-4974-1934

E-Mail: mjhide@ma.pikara.ne.jp

印刷

松下印刷株式会社

〒770-0874

徳島市南沖洲 5 丁目 7-63

TEL 088-664-5522

FAX 088-664-5527